

# マレーシアのカメロン高地における非常に有害な農薬使用を減らすためのコミュニティー活動

助成活動がメディアに掲載された回数

18回

農民ワークショップ講座への参加農家数

5(+若者1)農家

活動の全体目標に対する達成度

100%



研修参加後、コンポストを利用し土壌を肥沃に

## ◆成果と工夫したポイント

### ●成果

2,000人の農家と消費者、100人の政府関係者が、カメロン高地の農薬汚染の状況やこの地域の農薬問題の情報をえた。この地域の行政・関係者に知らせる2つのワークショップを開催、1農家が有機農業に転換した。

### ●工夫

幅広い分野の人たちの農薬削減意識向上のために、さまざまな角度から彼らとの連帯を強める努力をした。

## 課題

国内有数の農業生産地であるカメロン高地の水系や環境は、有害農薬に汚染されている。その事実を調査し、農家に農薬の危険性などの情報を広め、有機農業への転換を進める。

## 目標

農薬汚染が進んでいる水系の残留農薬分析、農家への農薬の危険性に関する情報提供。農家だけでなく、地域行政、学校、科学者、マスコミを巻き込んで、この地域の農薬削減に向けた幅広い意識啓蒙と行動。

## 活動内容

初年度には、地域の河川の残留農薬分析を行った。それによって明らかになった汚染の事実をもとに、次年度には、農民ワークショップの他に、政府役人、科学者、マスコミ、地域の環境グループ、学生などを招待した農薬汚染と有害農薬の人体影響に関する知識、脱農薬への手法などに関するワークショップの開催と、知識普及のためのDVD作成、上映、有機農家の見学と学習会を開催、農薬から子供を守るためのキャンペーンも行った。

## 達成できなかったこと

意識啓蒙はできたが、地域の農業政策の変更まではできなかった。また、有機農業に転換する農家の数をさらに増加させることはできなかった。一歩ずつ進むので時間がかかる。

## 今後の展望

より多くの農家が研修を受けて、農薬削減に向けて農業の仕方を改善し、有機農産物の販路拡大をする。



伝統的農地 (Velu さん) 研修前